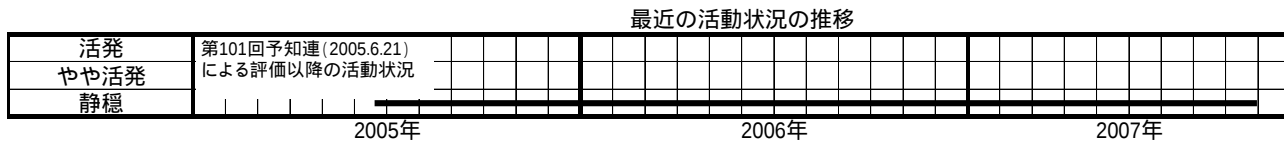


岩手山

○ **火山活動評価：静穏な状況**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。



○ 概況

・地震や微動の発生状況（図2～図3）

火山性地震は少ない状態が続いています。

火山性微動は観測されませんでした。

・噴気など表面現象の状況（図4）

柏台（黒倉山山頂の北約 8 km）に設置してある遠望カメラでは、黒倉山山頂の噴気の高さは 50m 以下で、噴気活動は低調な状態が続いています。

・熱活動の状況（図5）

8月28、29日（前期間）に西岩手山（大地獄谷、黒倉山から姥倉山）の現地調査を実施しました。

赤外熱映像装置¹⁾による観測では、前回（2006 年 10 月 13、14 日）と比較して、噴気、地熱地帯の状況に大きな変化はなく、落ち着いた状態でした。

1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じして温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

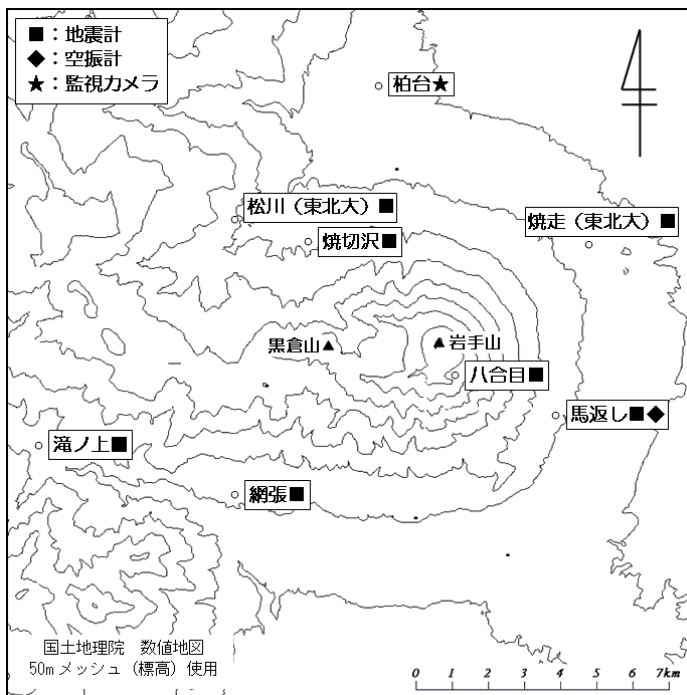


图1 岩手山 観測点配置図

資料は気象庁のデータその他、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 17 総使、第 503 号）。

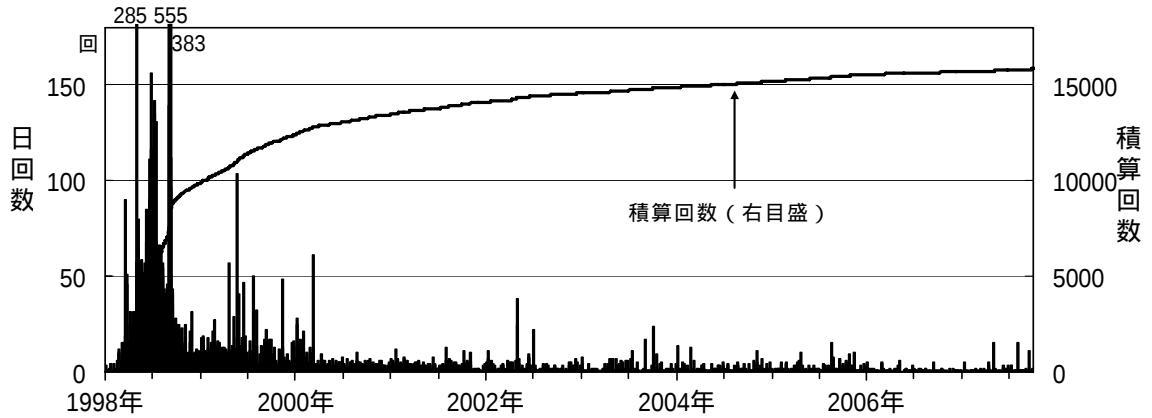


図2 岩手山 日別地震回数（1998 年 1 月～2007 年 9 月）

注）2006 年 1 月 1 日より、地震回数の基準点を東北大学松川観測点（計数基準：振幅 $1.0\mu\text{m/s}$ 以上で S-P 時間 2 秒以内）から気象台焼切沢観測点（計数基準：振幅 $0.5\mu\text{m/s}$ 以上で S-P 時間 2 秒以内）に変更しました。2000 年 1 月以降は滝ノ上付近の地震など山体以外の構造的な地震を除いた回数です。（1998 年から 1999 年までは滝ノ上付近の地震など山体以外の構造的な地震も含む）

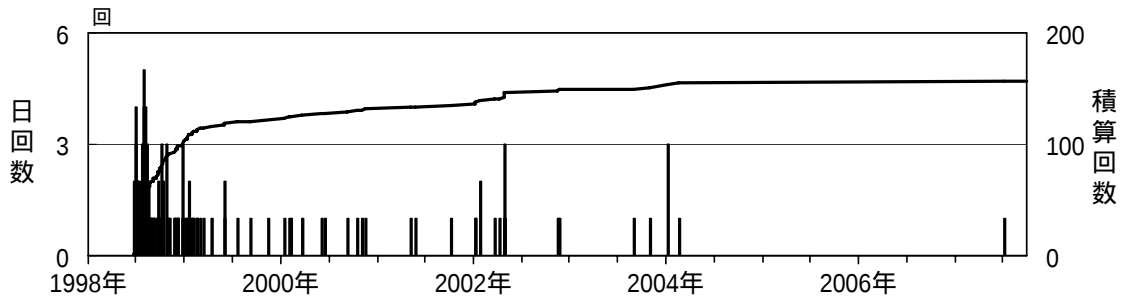


図3 岩手山 日別微動回数（1998 年 1 月～2007 年 9 月）

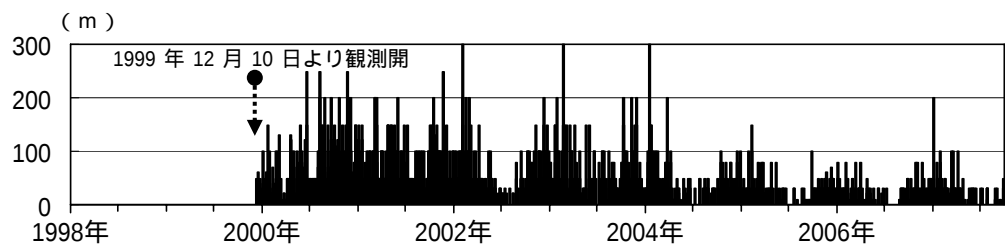
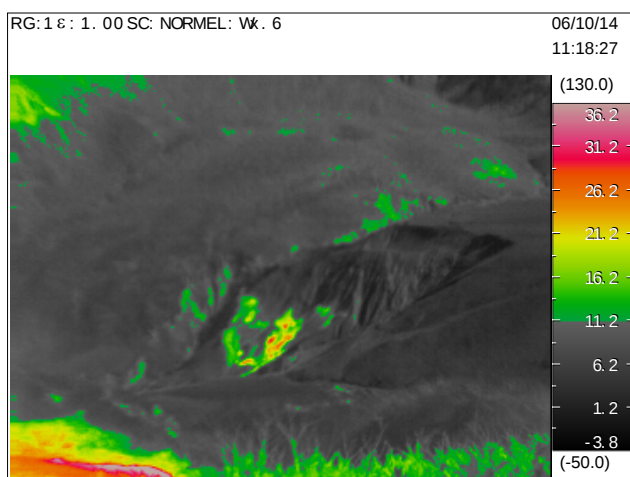
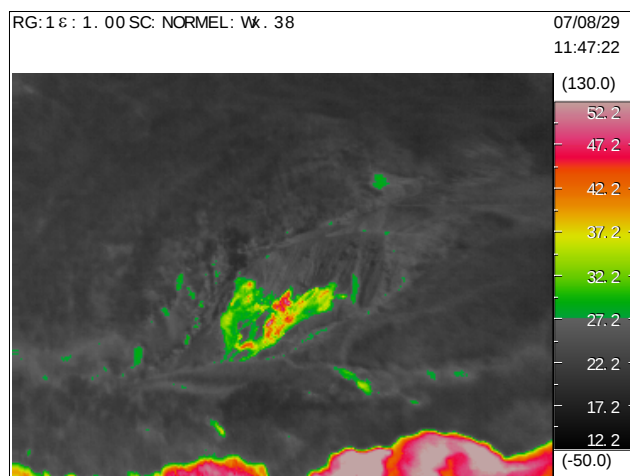


図4 岩手山 日最大噴気の高さ（黒倉山）（1999 年 12 月 10 日～2007 年 9 月）

気象台の柏台遠望カメラは、1999 年 12 月 10 日より観測を開始しました。



2006 年 10 月 14 日撮影



2007 年 8 月 29 日撮影

図5 大地獄谷の可視画像（左）と赤外熱映像装置¹⁾による表面温度分布（右）